

ルオー名作銅版画集「ユビュ」

20世紀世界美術の傑作「ユビュ親爺の再生」



フランスが生んだ巨匠ジョルジュ・ルオー（1871～1958年）を、哲学者で美術評論家の故谷川徹三先生は「ルオーは今世紀最高の画家・ピカソは最大の画家」と言われた。フランス政府はルオーが逝かれたとき国葬をもってその生涯と画業を称えた。初めステンドグラスの徒弟として出発し、数年後国立美術学校でギュスターヴ・モローに学んだルオーは、モローの死後モロー美術館長となり、20世紀最高の宗教画家として大成した。初め暗く中期以降は輝くような油彩画を多く生み、版画の傑作も「流れる星のサーカス」「ミゼレーレ」「受難」「悪の華」など多くの名品を制作したが、1928年制作1932年刊行の最初の銅版画集「ユビュ親爺の再生」は20世紀世界美術史に名高い名作銅版画集として必見のもののひとつとされている。



■と き 2017年4月12日(水)～4月23日(日)

■ところ 栗山町図書館 ギャラリー ■入場料 無 料
 夕張郡栗山町中央3丁目309番地 Tel.0123-72-6055

■時 間 午前10時～午後6時(木曜日は午後8時まで) ※月曜休館

■主 催 栗山町教育委員会
 Tel.0123-72-1117

次回は清水敦メゾチント版画集「野の花」
 2017年11月8日(水)～11月19日(日)